

ジオガイドと知事の懇談会を開催しました

12月12日、宮古市浄土ヶ浜レストハウスにおいて、県政懇談会「がんばろう！

岩手」意見交換会が開催されました。同懇談会は、「震災からの復興」、「いわての未来を切り拓く」をテーマとして、地域の振興や活性化に取り組んでいる若者や女性、被災地の高校生と岩手県知事が懇談する機会です。今回は三陸ジオパークで活躍する6名のガイドさんと知事が三陸ジオパークの推進について活発な意見交換を行いました。

全体の話を聞いて、達増知事から「現在の観光ガイドの内容にジオサイトの知

ジオパークの資源をさまざまな産業や、市民活動、教育活動などに活用して、地域の方々の草の根レベルでのつながり、地域づくりに携わっていききたい。

ジオガイドとして漁師や酪農、震災語り部など様々な職業の方を育成し、観光客との交流をふやしていきたい。



識や情報を盛り込むことによって、楽しめるというようにするのがジオパークの肝であると思う。三陸は素材が全国有数であり、世界に通用する地形、地質、文化、伝統、美味しい食べ物があり、プラス被災地として見ていただくべきところ、聞いていただくべき話がたくさんあるはず。訪れる人の興味、関心に対応しながら、どう伝えていくのかという工夫が大事である」というコメントがありました。

出席したガイドさんは知事と直接お話ができて大きな刺激を受けていました。今後のガイド活動に活かしていったほしいと思います。

参加したガイドさん

- 實吉 義正さん
(陸前高田市観光物産協会副会長)
- 三浦 達夫さん
(釜石観光ボランティアガイド协会会长)
- 楠田 拓郎さん
(NPO法人体験村「たのぼろ」ネットワーク事務局長)
- 田高正博さん
(北三陸大地の恵み推進連絡会ジオパークガイド)
- 伊藤 栄利子さん
(浄土ヶ浜ビジターセンターガイド)
- 佐々木 浩美さん
(椿の里・大船渡ガイドの会ガイド)

MENU!

今回のイチオシはこちら!

650えん

・恐竜の頭をイメージしてハンバーグやチーズで飾ったオムライスに、自家製のデミグラスソースを添えた子どもたちに大人気のメニューです!

勝手にジオ飯 認定委員会!!

いつも勝手に認定しちゃっています!

宮古市の浄土ヶ浜レストハウスでは、期間限定で特製の「恐竜オムライス」を提供しています。観光客が少なくなる冬場も浄土ヶ浜で楽しんでもらおうと、同レストハウスが展開する冬季限定のメニューの一つで、家族連れを中心に大好評とか。

一昨年、県立水産科学館の特別展「恐竜時代の海VS陸」とコラボして考案した「恐竜ランチ」で、特に人気が高かったメニューを昨年の11月に復活させたとのこと、ぜひ「賞味ください」。